

神奈川県の事例

神奈川県国際文化観光局国際課

事業に取り組む経緯や課題

令和元年度 (プログラムA)

入管難民法の改正 (H31.4)

日本語教育推進法の施行 (R1.6)

173の国と地域、約23万人の外国籍県民 (過去最高)

「かながわの地域日本語教育の施策の方向性」
取りまとめ・公表 (R2.3)

現状

- ボランティアによる日本語教室の活動が活発
- 学習者からのニーズがボランティアに集中

課題

- 日本語ボランティア教室への支援
- 専門家による日本語教育の必要性

➡ 各主体の役割と県の施策の方向性を整理

令和2年度～ (プログラムB)

県の役割

広域自治体としてのコーディネート役

県の取組

市町村等との連携強化

- 市町村等連絡調整会議の開催
- モデル事業の実施

広域的に行うネットワークづくり・人材育成

- リーダー的人材研修

地域日本語教育に係る情報提供

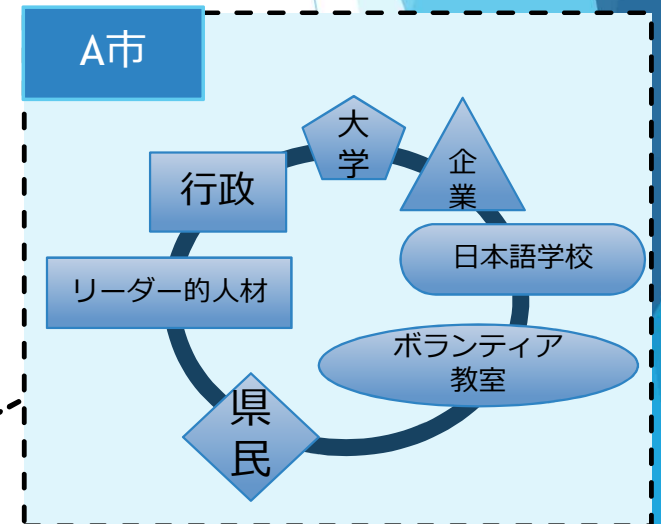
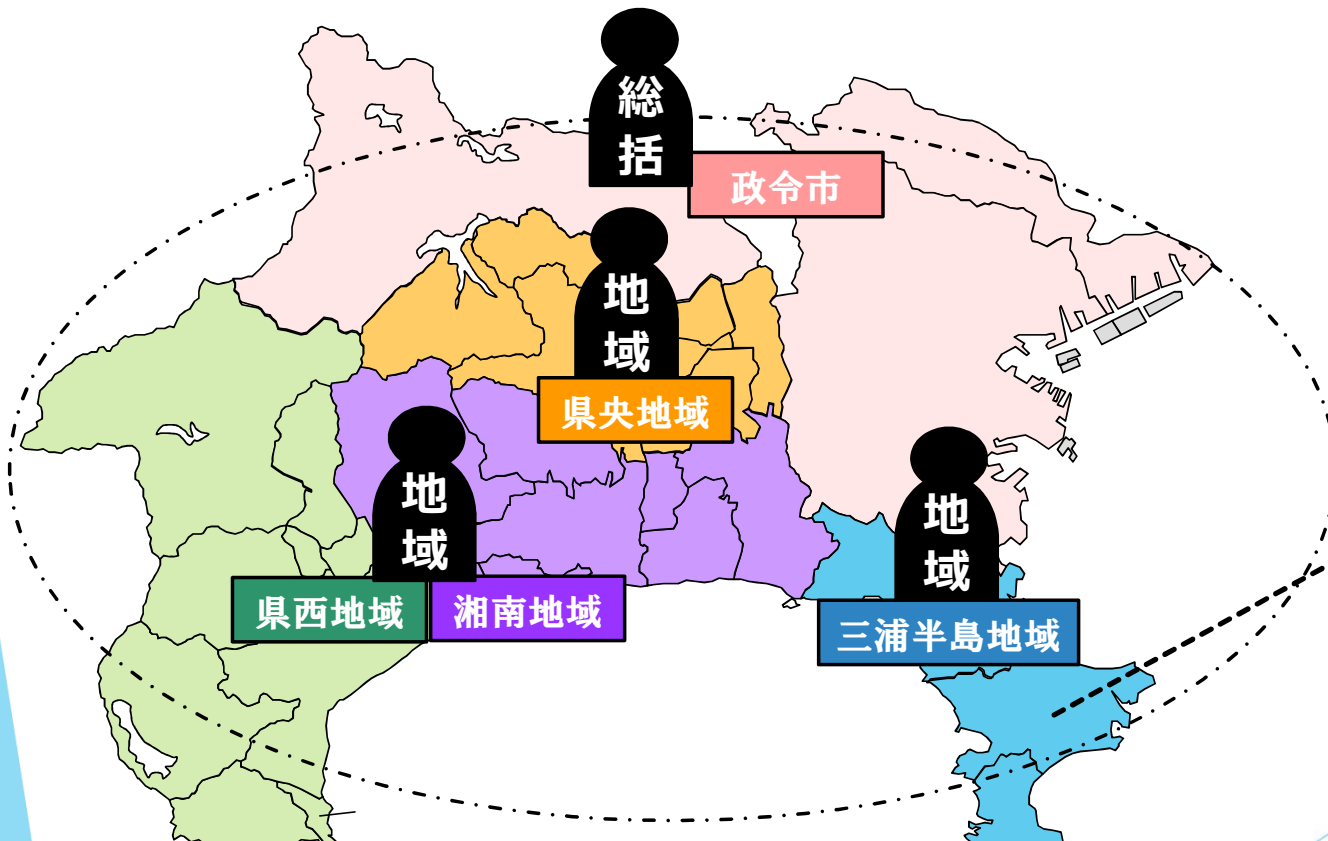
- 情報提供・相談対応
- その他、裾野を広げる取組

事業の体制図

(公財) かながわ国際交流財団に委託

- ・ 総括コーディネーター1名
 - ・ 地域日本語教育コーディネーター3名
- を配置

神奈川県は地域によって状況が異なっており、地域のニーズに合うように支援・コーディネート



「かながわの地域日本語教育の施策の方向性（令和2年3月）」に沿った主な取組

市町村

地域の実情に応じた日本語教育の実施

- ・ 日本語教育のニーズの把握
- ・ 地域における体制づくり
(地域の実情に対応)
- ・ ボランティアによる日本語教室への支援
(会場の確保、ボランティアの研修等)
- ・ 「やさしい日本語」等の普及・啓発



県

広域自治体としてのコーディネート役

- ・ 市町村等連絡調整会議の開催
- ・ モデル事業の実施
(専門家による初心者向け日本語講座等)
- ・ リーダー的人材の育成
- ・ 情報提供・相談対応
(ポータルサイトの開設等)
- ・ その他、裾野を広げる取り組み
(日本語学習支援フォーラム等)



連携

専門家による初心者向け日本語講座（モデル事業）

生活オリエンテーション等を組み込んだ短期集中型の日本語講座を実施。

- **会場** かながわ県民センター（KANAFAN STATION等）
- **日時** 9月10日～11月24日
レベル1（初めて日本語を勉強する方向け）
12月3日～2月18日
レベル2（ひらがな、カタカナを読むことができる方向け）
- **回数** 各レベル20回

日本語クラス 2020～2021

はじめてのにほんご

かようび・もくようび ▶ 10:00～12:00

いつ
レベル1 9月10日～11月24日（20かい）
レベル2 12月3日～2月18日（20かい）

どこ
かながわ県民センター 2F KANAFAN STATION
Google Map
かながわ県民センター
http://www.pref.kanagawa.jp/kanafan-station
横浜駅から 歩いて 5分

だれ
レベル1 はじめて にほんごを べんきょうするひと
レベル2 ひらがな・カタカナを よむことが できるひと

おかね ¥0 ※きょうかしょのおかねが あります。（1レベル ¥2,640）
*せいのひととちゅうにつうやくが します。

もうしこみ (いろいろなことば)

English	中文	Tagalog	Tiếng Việt
Español	Português	नेपाली	ភាសាខ្មែរ
한국 조선어	Bahasa Indonesia	やさしい日本語	

レベル1 9月1日まで
レベル2 11月26日まで

でんわ 045-620-0011 (にほんご)
045-316-2770 (いろいろなことば)
げつようび～さんようび ▶ 9:00～12:00, 13:00～17:15
*どようび・にちようび・しゆくじつは やすみです。

メール nihongo_join@kifjp.org (にほんご たんと)

実施 (神奈川県から委託) : (公財)かながわ国際交流財団 (KIF)

今後の課題

- ・オンラインの活用
- ・市町村での実施（地域の実情に応じた日本語教育の実施）

日本語教育のポータルサイト「かながわでにほんご」の開設

外国籍県民や日本語ボランティア等が必要としている日本語教育の情報を集約。

かながわで
にほんご
Study Japanese in Kanagawa

日本語を学ぶ
(やさしいにほんご)

Where どこで?

How どうやって?

こまったときは?

PICK UP

【オンライン】10月24日(土)、日本語学習支援フォーラムを開催します。

どうやって?

日本語の勉強に役に立つウェブサイトやビデオを紹介します。

日本語が勉強できるウェブサイト

日本語学習の役に立つウェブサイトを紹介しています。

<http://www.kifjp.org/nihongo/howto/kyozai>

日本語のビデオ

日本語学習の役に立つ動画を提供しています。

<http://www.kifjp.org/nihongo/howto/video>

とっておきの学習法

外国人住民の方から日本語を学ぶときの工夫や大事だと思うことなどについてメッセージをもらいました。

<http://www.kifjp.org/nihongo/howto/hints>

<内容例>

- ・日本語学習の役に立つサイト
- ・日本語学習の役に立つ動画
- ・各種講座・イベント情報
- ・学習法に対する外国人の声
- ・相談窓口情報
- ・かながわ日本語教室マップ

など

URL : <http://www.kifjp.org/nihongo>

日本語学習支援者フォーラム

地域日本語教育に関する基本的な理解や関心をもってもらうことを目的として実施。

- 開催方法 「Zoom」によるオンライン開催
- 日時 10月24日（土） 14:00～16:00
→ 参加者175名
- 内容
 - <第1部>
 - ・ 神奈川県を取り組みについて
 - ・ 基調講演（多文化共生をめざす地域日本語の役割）
 - <第2部>
 - ・ パネルディスカッション（これからの地域日本語教育を考える）

オンラインフォーラム **日本語学習支援フォーラム**
～これからのかながわの地域日本語教育を考えよう～

神奈川県は全国的に地域の日本語ボランティア教育の活動が盛んな地域です。
2019年6月、日本語教育推進法が施行されました。
今後、行政、日本語ボランティア教育、企業など様々な担い手が連携・協力し、一体となった日本語教育の総合的な体制づくりにつなげるため本フォーラムを開催します。
多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



日時 2020年10月24日（土） 14:00～16:00
「Zoom」によるオンライン開催 13:30～後援サイト入場可能

参加費 無料 ※要申込 定員80名
※前日（10/23）に、事前にお申し込みいただいた方に招待URLをお送りします。

内容
第1部 <神奈川県を取り組みについて>
「かながわの地域日本語教育の将来の方向性」について（神奈川県）
<基調講演>
多文化共生をめざす地域日本語教育の役割（神奈川県）
第2部 パネルディスカッション～これからの地域日本語教育を考える～
日本語ボランティア、外国籍住民、市民団体などをパネリストに招き、「これからのかながわの地域日本語教育」に向けた期待や展望についてお話を伺い、みなさんと共有します。

講師・パネリスト
神吉 亨一（武蔵野大学准教授、公益社団法人日本語教育学会副会長）
パネリスト
中 聡子（市長ボランティア団体 コッカの会代表）
佐 美香（日本外国人支援ネットワーク代表）
渡川 泉（横浜市企画課 国際・男女共同参画担当 総括副主幹）

申込方法 タイトルを「オンラインフォーラム申し込み」とし、メールアドレスに①氏名、②電話番号、③ご所属（地域日本語教育との関わりなど）（任意）を記入いただき、メールアドレス（nihongo_jain@kijfp.org）宛でお送りください。

申込締切 2020年10月21日（水）

主催 神奈川県（次長：（公財）かながわ国際交流財団）

お問合せ・申込 （公財）かながわ国際交流財団 日本語事業担当
メール：nihongo_jain@kijfp.org
TEL：045-520-0011
http://www.kijfp.org/nihongo/Forum



ウェブで情報を
ご覧いただけます

今後の課題

- ・ 若年層の参加